



## 上海ディズニーランドに行ってみました

+

上海ディズニーランド(以下、「上海DL」と略記)に行ってきました。現在、チケットの取り扱いが、中国国内の旅行会社数社に限られているため、日本の旅行代理店がツアーを組みにくいようです。その上、日本の報道では、マナーやサービスに関する不評が先行していることもあり、日本における上海DLへの注目は低いかもしれません。確かに、サービス水準や管理能力の高い日本の東京ディズニーランド(以下、「東京DL」と略記)と比べると、見劣りする点もありますが、トラブルを発生させないための様々な工夫が凝らされていました。そこで今回は、筆者の目に映った上海DLの印象と感想をお伝えします。

+

まず、率直な感想は、とても楽しかったです。確かに、報道されているようなマナーの問題も多少目に付きますが、アトラクションやパレードの感動や楽しさが大きく、「また行きたい」と感じさせるのは、さすがディズニーです。入場するまでに、エントランスを潜って、スタッフたちに笑顔で出迎えられ、通りのあちこちで販売されているポップコーンの甘い香りが漂ってきたとき、何だかワクワク感を覚えました。

筆者が行ったのは、開園して間もない平日です。それでも相当な混雑を覚悟していきましたが、園内が広大で道幅が広く設計されており、アトラクションやレストランに並ぶとき以外は、人混みを感じることはありませんでした。もちろん、待ち時間が2時間を超えるアトラクションやショーもありますが、筆者が行った際は、幸運にも大人気のパイレーツオブカリビアンに30分程度で入れました。

報道で取り上げられているとおり、日本に比べて、マナーの悪い人が多いことは事実です。ただ、上海DLの外の世界と比べると、目を見張るマナー向上だと感じま

した。それは、運営側が様々な工夫を凝らしていたからでしょう。

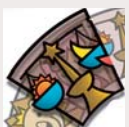
例えば、整列マナーの悪い客を想定して、東京DLのように伸縮性のあるロープで仕切るのではなく、鉄製の整列柵できちりと仕切っていました。大人でもこの柵を潜ったり跨ぐことは困難です。そして、その列幅は大人2人が横並びできる程度の幅の狭さで、後ろからの追い越しを許さない造りになっています。

また、トイレに行っていたことを口実にして割り込みする人が多いため、「トイレカード」なるものを発行することで割り込みトラブルに対応するアトラクションもあるようです。ポイ捨てする人もいましたが、清掃スタッフによってきれいに維持されていました。特に、ごみが散乱しやすいショーやパレードの後には、すかさず清掃スタッフがやってくるなど、周到に配置されていたと思います。

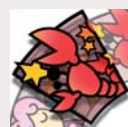
上海DLでは、世界初やアジア初のダイナミックなテーマランドがあるほか、干支とディズニーキャラクターが融合した中国らしいテーマランドにも感動し、童心に還って楽しめました。むしろ前評判がいまひとつだっただけに、筆者もさることながら、思ったより良かったという人が多いと思います。

さて、開園から約2ヵ月で200万人足らずが来場しました。上海DLには、東京DLのような年間パスポートは発売されていない中、初年度目標の1000万人来場に向けて順調な滑り出しです。既に、二期拡張工事が始動していることが発表されましたが、土地の広さとしては、パークをあと2つ建設できる拡張用地があります。これからも引き続き、注目していきたいと思います。

(協)広島総合卸センター 囑託  
(前上海事務所 所長)  
蔡 徳 栄



天秤座生まれ 9月23日~10月23日  
ビジョンを語ると、賛同者が増えて前に進みやすくなるでしょう。



蠍 座生まれ 10月24日~11月22日  
迷ったら自分の中で一番大切にしたいことを思い出してください。